



2010/4/26 NO. 1
発行：田沢地域運営体荷葉
仙北市田沢湖田沢字大山7番地
TEL:43-1351（田沢出張所）
Email:

田沢地域運営体「荷葉」設立

一事業は役員会で議論します一

田沢地域運営体設立総会が3月14日に、田沢地域の各団体・集落より48名が出席のもと開かれ、田沢地域運営体「荷葉」が設立しました。

総会には運営体の発案者である市長も出席し、仙北市の新しい町づくりの出発点になると確信しているとあいさつがありました。

その後議題である経過報告、運営体の規約と運営体の設立、事業計画・予算案が準備委員会より提案され、承認されました。



役員については会長・副会長・事務局長・事務局次長・監事が総会で選出され、各団体の幹事はそれぞれの団体で選出することになっています。

総会では、営利目的の団体が予算を沢山要求してくるとか、間違った方向に進むのを阻止する手だてが必要でないか。今までボランティアでやってきたことと運営体でやるべきことを棲み分けしてもらわないと、ボランティアが成り立たなくなるとは困るなどの心配事や、各団体と運営体の利益配分等の問題点や不安点がだされましたが、議論しなければならない意見は、今後の役員会で議論していきます。

仙北市で初めての取り組みでありますので、どんなことができるのか役員会で話し合いながら、進めていきます。各団体・集落から役員（幹事）が1名ずつ選出することになっていますので、意見等は各団体・集落で話し合い運営体の役員会へ報告してもらえば運営体の役員会で議論し、運営体で実行できるものかそれとも各団体で実行するのか判断していきます。

今回各家庭へ、①総会議案、②規約、③新聞の3点セットを配布しますので、熟覧してください。なお、事業計画と予算はあくまでも（案）で、詳しくは各団体から幹事が参加する役員会で決定していきます。

なお、4月1日に運営体の登録を仙北市に申請し、登録が受理されています。

役員です

- ◆会 長 浦山久二
- ◆副 会 長 千葉恒昭・酒出キ工
- ◆事務局長 浦山清悦
- ◆事務局次長 羽根川覚（会計）
中島和仁
- ◆監 事 千葉寛治・藤原修
- ◆幹 事 各団体・集落1名ずつ選出

新しい町づくりの出発点一市長あいさつ抜粋一

田沢の皆さんにとっても新しい地域づくりをスタートする記念の日になるのではないかと思います。……合併が進んで新しい市ができました。……一緒にやっていくはずの地域の方々と行政の距離が遠くなっているとの反省が自分の中に強く心に残っている。地域の人々が自分たちのことを自分たちで進めていくことはもちろんだが、それによって行政の質が上がっていく、地域の人々の生活の質が上がっていくという仕掛けを何とかして作る必要があった。それを選挙の公約で一番の柱にした。市民分権を進める。……ここが仙北市の新しい町づくりの出発点になると確信している。……



特産品をつくって所得が高まるかもしれない。高齢者の方の見守りが他の地区より断然よくなるかもしれない。除雪だって細かく細かくできるかもしれない。そういうことをみんなに見てもらおうというところまで、この1年間ぐらいで、皆さんの力を借りながら、そうすることで初めて23年度には「よし、おらほもやってみるか」ということが生まれてくるかもしれない。もしかして、大変これは皆さんに気の重い話になるかもしれないが、皆さんと一緒に成功できるかできないか、これで仙北市の市民分権のあり方も大きく変わっていくとの思いですので、心配なことがいっぱいあると思うが、走りながら考えていきたいと思う。……一緒にやっていきましょう。

